

川西市産業ビジョン(案)に係る

意見提出手続結果

- 1 意見募集期間 : 令和6年1月17日(水)～令和6年2月15日(木)
- 2 意見提出人数 : 5人
- 3 意見提出件数 : 13件
- 4 提出意見については別紙のとおりです。
お寄せいただいた意見は、それぞれの項目に分類し記載しています。
ただし、個人等が特定される箇所や内容が募集対象に合致しない意見については、記載していない場合があります。
- 5 意見提出者の氏名については、個人が特定されないことがないよう、
A～Qのアルファベット表記に変えて「提出者欄」に記載しています。

意見番号	意見の分類 (該当のページ、 項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
1	【全体】	<p>産業ビジョンの後期4年の計画がスタートする。</p> <p>後期計画では、よりテーマを絞り込んで施策を展開しないといけないが、内容がほとんど前期の内容と変化がない。新規事業と表現されている★星印の内容も前期内容の表現を少し変えただけである。</p> <p>前期の内容の事業の焼き直しとなっている。後期計画では、チャレンジングな内容や深掘りした内容を計画してほしい。</p>	<p>産業ビジョンは令和2年から令和9年度までを計画期間として、令和2年度から令和5年度までを前期計画、令和6年度から令和9年度までを後期期間としています。</p> <p>今回の後期計画は、産業ビジョンの改訂のため、基本的に前期計画の基本方針の骨格、施策展開を踏襲しています。</p> <p>新たな事業展開が必要になった際は、毎年作成するアクションプランの中で検討していきます。</p>	C-2
2	<p>【本編】 7ページ</p> <p>1-1. 起業に向けた人材の発掘・育成</p>	<p>本市は住宅都市として発展してきており、9割が中小事業者であるならば、逆にその特性を上手に活かした産業活性化支援策を考えてほしい。大手企業や大手チェーン店にできない、きめ細かいサービスが可能な中小企業を積極的に支援してほしい。これこそが住宅都市の立地における産業支援の役割である。</p> <p>しかも川西市には、お隣の伊丹市や丹波篠山市と違い、伝統的な商工業の店舗がほとんどない。ならば、新しい視点を持った者を呼び込み、新規事業を興していく必要がある。</p> <p>基本指針1-1に「起業に向けた人材の発掘・育成」とあるが、その内容が「女性起業塾」や中小企業大学校と連携した「次世代トップリーダー養成講座」ではお寒い。</p> <p>もっと川西市の立地条件や住民構成や経営環境を踏まえた、地に足のついた起業支援が求められている。</p> <p>例えば、産地直送の野菜を活用した惣菜小売店や地元有機野菜を使ったレストランやお年寄りがオシャレできる理美容店等の住民が喜ぶような事業支援が必要である。</p> <p>現実問題として、特徴あるレストランを求めて伊丹市や能勢町や豊能町に出かけていけないといけないのは、とても残念なことである。</p>	<p>住宅都市としての新たな価値を生み出すため、事業者との交流の場づくりを通して小さな起業や副業などつなげる仕組みづくりを行うほか、市内在住・在勤のビジネスパーソンを新たなプレーヤーに取り込む施策を検討していきます。</p> <p>提案いただいている魅力ある店舗については、事業者が独自で検討する内容となりますが、新規開業する飲食、小売店などの店舗の立ち上げに対して、新規出店事業支援補助金制度により支援しています。また、希望する事業者には経営支援するなど伴走を行い、地域活性化やにぎわいづくりに取り組んでいます。</p>	C-3

意見 番号	意見の分類 (該当のページ、 項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
3	【本編】 9ページ 基本方針2 まちの にぎわいと歴史・ 自然体験による交 流の活性化	<p>川西市に入った途端使えるWi-Fiがあったら便利だなあ、と思います。 川西市内の名所を教えて貰える、食事店を教えて貰える、等初めて来た人も楽しめる情報を自動的に受け取れる仕組みがあれば観光客ももっと増えるかも、と思いました。</p> <p>これは川西市に住んでいる方にも便利だと思います。梅田等周辺地域で働き川西市へ帰宅した時自動的にWi-Fiが繋がって今日の川西市の情報(火事や交通事故、空き巣事件等)を聴いたり見たり出来たらいいなあ、と思います。</p> <p>自分も含めた年配者は一々アプリをダウンロードするのも面倒くさいので、川西市市内にいる間だけ自動で受け取れる方法があればいいと思います。</p> <p>又はかわにしFM放送を作り、ラジオアプリを利用して貰って川西市の色々な情報を流して貰う。川西市独自のプロバイダーとか。 取り留めないですが、ご検討お願い致します。</p>	<p>市からの情報発信については、広報誌及びホームページによるお知らせを基盤としながら、各種SNSや川西あんしんネットからのメール発信等、情報の種類によって多様な発信手段の確保に努めているところです。</p> <p>ご意見のアプリ等の登録の必要なく自動的に情報を受信する手段については、LINEやSNSを活用しつつ、市内・市外を問わず幅広く様々な情報をお伝えできるよう、引き続き検討していきます。</p>	D-1
4	【本編】 9ページ 基本方針2 まちの にぎわいと歴史・ 自然体験による交 流の活性化	<p>川西市は大阪・神戸等の大都市近郊の住宅都市として、充実した道路網・鉄道網により高い通勤・通学の利便性もあり、自然環境に囲まれており、豊かな居住環境を備えていると思うが、最近は駅近でも空き家が多い。</p> <p>川西には他府県から訪れるような飲食店もないので、空き家などを利用して、他府県からも訪れるような魅力的な飲食店があれば空き家対策にもなり良いと思うので、起業家支援、発掘などをお願いしたい。</p> <p>また、イチジクや桃の産地でもあるので、イチジクを他府県に出荷するのではなく、地元でスイーツのお店などあれば良いと思う。飲食店ができれば、歴史ある場所や自然も多いので観光事業も併せて発展すると思う。</p>	<p>本市では、魅力的な店舗の出店、にぎわいを創出するため、小売業、飲食業などの出店に対して、新規出店事業支援補助金を行っています。</p> <p>また、空き家の有効活用を促進するため、空き家を店舗などの事業所として活用するための機能回復など必要な改修工事に要する経費の一部を助成する「空き家活用リフォーム助成制度」を実施しています。</p>	E-1
5	【本編】 10ページ 2-1. 中心市街地の にぎわいの創出	<p>市の目指すまちづくりに関して、活動主体のプレイヤーが商工会や青年会議所等の市内事業者、地域にある既存団体に加盟している市民に限られ、活動の主体者が同質的である。</p> <p>そのため、新たなプレイヤーの参入が難しく、市民一個人の関係性構築にまで発展していないように見受けられる。より多くの市民に参画と協働を促し、既存団体に所属しなくとも活動できるような開かれた形のまちづくりや賑わいづくりになること、日常的な地域活動や暮らしにまで発展するような、発信の仕方を心掛けてほしいと考える。</p> <p>地域や校区の枠組みを超えた、より広域的な連携が取れるプラットフォームの形成などの取り組みが必要と考えられるが、市としての見解は如何か？</p>	<p>川西能勢口駅のペDESTリアンデッキや藤ノ木さんかく広場などでキッチンカーなどの出店がみられ、商工会など既存団体に加盟している市民だけでなく、特定の団体に属さない新たなプレイヤーも参加しています。</p> <p>今後、中心市街地のにぎわいを市域全体に波及する仕組みづくりが必要であり、マチノマを活用して新たなプレイヤーが参画できる枠組みを検討していきます。</p>	B-2

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
6	【本編】 10ページ 2-1. 中心市街地のにぎわいの創出	<p>「まちなか交流拠点マチノマ」について、中心市街地活性化協議会の方々を中心に様々なイベントやセミナーが催され、職員の方も色々な工夫や仕掛けを試行錯誤し、楽しみながら、市民に呼びかけている様子が好印象であり、中心市街地に明かりを灯すような市民の新たな活動拠点として、あたたかみのある憩いの場として活用されているのが良い。</p> <p>一点要望すると、営業時間が10時00分から16時00分となっているため（土曜営業に関しては良いと思います）、市外勤務の会社員や昼間学生などが帰宅前にふらっと寄ることができないのが勿体ない。ベットタウンとしての市民ニーズを考えると、新たな周知方法を図り、より多くの市民が効果的に利用できるよう、会計年度職員やシルバー、ボランティアの協力も含め24時間3交代制にするなど、営業時間の延長や機能を拡充して頂けると有難い。営業日や時間に関しては、キセラ丸についても同様。是非とも、中心市街地活性化の拠点として更なる飛躍を遂げ、新たなシンボルとしてなってほしいし、私たち市民の側も積極的な利活用と周知啓発を心懸けていきたい。</p>	<p>「まちなか交流拠点マチノマ」については、中心市街地におけるにぎわい創出を目的として、令和5年4月に開設し、これまで試行錯誤しながら、イベントやワークショップなどの活動や交流会を随時開催してきました。営業日や開設時間については、利用者からも同様のご意見をいただいておりますので、今後、コストやニーズの面を考慮し、開設時間や運営方法等を検討していきます。</p>	B-1
7	【本編】 10ページ 2-1. 中心市街地のにぎわいの創出	<p>川西都市開発(株)「アステ川西」の経営に関して、開業以来長年にわたり、慢性的に長期借入及び短期借入を繰り返し運営されてきたものと理解しているが、市民に対する5億円もの借入に関しては、いつ返済されるのか、用途は立っているのか。当時の経営計画・収支予測などの判断が正しかったのか、市民と共に検証する必要があり、当該事業者による行政や議会に対する説明責任の場は年に数回程度設けられているものの、市民に対する直接的な経営に関する説明責任を果たす場面が少なく、疑問を感じる。また、昨年には川西都市開発(株)・(株)パルティ川西・川西能勢口振興開発(株)の三社が合併されたが、引き続き、当該事業者の慢性的な赤字体質を解消するよう努めて頂きたい。財政健全化の為に市民にはコストカットを呼びかける一方で、市及び関連会社が率先して身を切る覚悟がなければ話にならず、明確な説明責任を果たすべきである。特に、当時の借入の決定に至った議会や行政の責務としてどのように考えているのか、徹底的に問われるべきである。</p> <p>また、アステ川西においては、SC部門の売上の大幅な増益に繋げることが喫緊かつ最重要課題であると思われるが、SC部門の強化のために思い切った投資や施設内のリノベーションも考える必要がある。例えば、市内には宿泊施設が少ない、観光資源が少ないといった課題があるため、当該施設内に宿泊施設を増設するなど、大胆な経営改革や投資の概念が必要だと考えられるが、市としての見解は如何か？</p>	<p>川西都市開発(株)への5億円の長期貸付金については、令和5年12月に返済契約を締結することができたところだ。</p> <p>これは、会社として様々な経営改善の取組みを行うとともに、三社合併による改善効果によって、目標としていた1億円程度の経常利益となる見通しとなったことから、再建計画より1年前倒しで返済を開始するものです。</p> <p>ご意見のとおり、川西都市開発(株)については、平成25年度に厳しい経営状況により、市から経営支援として5億円の長期貸付を行うとともに、再建計画を策定して、確実に実行してきました。その結果、平成26年度以降は、会社としての経営は黒字化することができ、金融機関からの借入金についても計画どおり返済することが可能となりました。そのような事から、当時の貸付については、駅前のにぎわいを守るために、効果的な経営支援であったと評価しています。</p> <p>今後、会社に対して宿泊施設を増設するような働きかけをする考えはありませんが、会社からは、川西市の玄関口としてふさわしいまちづくりとともに、安定した経営となるよう、定期的に投資を行って利益につなげていくと聞いており、引き続き、市としても積極的に経営状況の把握に努めていきます。</p>	B-3

意見番号	意見の分類 (該当のページ、 項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
8	【本編】 12ページ 2-2. 市内観光資源の発掘	ホテルの誘致を希望（伊丹空港から近いという立地を活かしてほしい）	宿泊施設の立地は、事業者が採算性などを考慮し出店するため、市がホテルを誘致する考えはございません。	A-1
9	【本編】 12ページ 2-2. 市内観光資源の発掘	猪名川河川敷の開発（家族層向けではなく若者が市内外から集いたくなるスポーツ施設建設を希望。スケートパーク等が望ましい）	猪名川河川敷や周辺は、東久代運動公園やドラゴンランドなどを整備し、広く市内外からスポーツやレジャーに利用いただいております。現在のところ新たな施設を整備する予定はございません。	A-2
10	【本編】 13ページ 施策の方向性③市町域を越えた観光振興ネットワークづくり	本方針記載のネットワークに加え、全国川西会議（ネットかわにし）や姉妹都市である香取市や友好都市である福知山市との積極的な関わりを構築すべく、自治体や商工会等の団体レベルでのつながりだけでなく、市民レベルでも往来があり、つながりを創出していく必要があるが、具体的な方向性について伺いたい。	全国川西会議や姉妹都市との交流について、市民に関心をもってもらい個人レベルでの交流を促せるよう、今後も各市の観光PRなど情報発信に努めます。	B-4

意見番号	意見の分類 (該当のページ、 項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
11	【本編】 14ページ 【基本方針3】既存産業の持続と活性化	ゼロカーボンシティ宣言には反対（地域企業（ダイハツ社、関連会社）へ従事する市民も多い）	地球温暖化対策に関する国際的枠組みである「パリ協定」の採択を受け、国は平成28年に「地球温暖化対策計画」を閣議決定し、令和2年には、2050年度までに温室効果ガス排出量実質ゼロをめざすと表明しました。 これを受け、本市においても令和4年8月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年度までに主な温室効果ガスである二酸化炭素の実質排出量ゼロをめざしております。なお、意見に記載されている企業も含め、多くの企業でも温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。	A-3
12	【本編】 14ページ 【基本方針3】既存産業の持続と活性化	「湯櫻」が再開できるようサポートしていただきたい（医療より健康増進に目を向けていただきたい）	一民間事業者の経営に市が直接関与することはできません。	A-4
13	【本編】 14ページ 【基本方針3】既存産業の持続と活性化	産業ビジョンの資料編は、各種支援策とその実績が一覧にまとめられて分かりやすい。 各年度毎の利用者数もでており、課題も分かりやすい。 支援策の内容が、ほとんど国の支援策に頼っており、市役所や商工会の支援策は“商店街お買物券事業補助金”や“電子プレミアム付商品券事業”や“川西市中小企業事業力向上対策補助金”等の限定施策しかない。 もっと川西市らしい独自の支援策を進めてほしい。	物価高騰や消費喚起などの経済対策は、まず国や県からの交付金などを活用し、施策展開を図っています。 一方で、新規出店事業支援補助金制度など市独自の施策も掲載しています。 今後も、経済情勢、国・県の動向を注視しながら、必要に応じて事業者支援を検討していきます。	C-1